

週報 第3217回

会長 上田 秀朗 副会長 渡辺 万寿
幹事 西田 佳郎 SAA 西端 政博

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日 12:30 ~ 13:30

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス info@izumiotsu-rc.org
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



今週の例会(2023年9月8日) 第3217回

■ プログラム

卓話担当 根尾 玲子 会員
卓話講師 大阪府赤十字血液センター
南大阪事務所 課長 田中 堅司 様

■ 次週のプログラム

9月15日: 卓話担当 櫻井 善章 会員
卓話講師 泉大津税務署
署長 小林 基幸 様

■ 今後の予定

- ・9月22日: 公開例会
- ・9月29日: 定款の規定により例会休会

■ 祝 誕生日

なし

■ 今月のロータリーソング

奉仕の理想

今月の歌

赤とんぼ

夕焼小焼の 赤とんぼ
おわれて見たのは いつの日か
夕焼小焼の 赤とんぼ
とまっているよ 竿の先

■ 先週の例会



会長の時間 上田 秀朗 会長

皆さん、こんにちは、今日から9月ですが、今日も真夏を思わせる暑い一日になりそうです。それでもさすがに台風の前線が気になるようにはなってきました。

皆さん、ご覧になりましたか昨夜の月を？
昨夜はスーパームーンでした。月の軌道は実は楕円でして、そのため最も近づくと、最も速くなる時ができます。もっとも近づくと満月が重なる時をスーパームーンと呼んでいます。そのためいつも満月より明るく大きくなります。しかも2〜3年に一度しか見られない月に2回目の満月のスーパームーンでした。ブルーモーンの月を見るのが訪れるといえます。私も、深夜1時ごろ、クラブに幸運が訪れることを祈ってみさせてくださいました。

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3217回

本日の会長の時間、大河ドラマ番外編でございませう。実はお話しするタイミングを逃した感もありますが、お付き合いください。今回は、「どうする家康」では登場しなかった大和の国の大名、筒井順慶のご紹介です。

前々回の「麒麟が来る」では駿河太郎が演じていました。筒井氏は、もとは僧兵の棟梁で、順慶の父順昭のころには大和の国最大の武士団となっていました。八木昌彦年度の家族例会で訪れた大和郡山を拠点としていたようです。

何故、筒井順慶なのかという、戦国乱世に対する見事な遊泳術と、そのしたたかさに、私は感動さえます。皆さんは「洞ヶ峠を決め込む」という言葉をご存知だと思います。由来・語源辞典に見ると、「両者を比べ、有利な方につこう」として形勢を見ること。日和見的な態度をとること」とあります。洞ヶ峠は現在も京都府八幡市と大阪府枚方市の境にある峠で、標高70メートル、古くから戦略上の要衝として知られ、川を隔てて天王山が望めます。筒井順慶はこの峠から、明智光秀と羽柴秀吉が戦う山崎の合戦の趨勢を見極めて、秀吉側につきま。いわゆる勝ち馬に乗ったということになります。この故事が「洞ヶ峠を決め込む」の語源となりました。

この筒井順慶、実は、もう一つの言葉の由来にもなっています。それは「元の木阿弥」です。ものごとが振出しにもどるとか、よくなったのにまた元の状態になってしまうという意味で使われます。この語源には諸説ありますが、ここでは広辞苑の記述をご紹介します。

筒井順慶の父、順昭が病死したとき、嗣子順慶がまだ幼かったので、遺言により、声か順昭に似ていた南都(現在の奈良市)の盲人木阿弥をほのぐらい寝所において順昭が病気で寝ているようにみせかけ、順慶が長ずるに及んで初めて順昭の死を世間知らせ、木阿弥は元の市人(いちびと=一般人)となった(以上は広辞苑からです)。おそらく木阿弥は、影武者の間は病気の殿様として扱われ、良い暮らしをしたことでしょう。

影武者を立てたり、文字通り洞ヶ峠を決め込み勝ち馬に乗り、戦国乱世を泳ぎ切った筒井順慶ではありませんが、戦国大名としての筒井氏は、順慶の死後、秀吉、家康の覇権争いに巻き込まれ滅亡してしまいます。ただ子孫は一千石の旗本として幕末をむかえたようです。作家の筒井康隆が「筒井順慶」という小説を書いています。筒井康隆と筒井順慶は全く何の縁もゆかりもありません。そして、これは、皆さんの中にもご存知の方もいらっしゃるかもしれません。堺市北区中百舌鳥町に国の有形文化財に指定されている筒井家

住宅があります。大きな庄屋らしい木造の建物です。こちらは紛れもなく筒井順慶の末裔です。御廟表塚古墳に隣接しており、門長屋と、その前の樹齢千年ともいわれる巨大な楠が、百舌鳥のくすとも呼ばれ、特徴的です。私は2度訪れたことがあります。皆さん、機会があれば、一度お出かけのことをご案内させていただきます。

本日の会長に時間は、大河ドラマ番外編、戦国大名、筒井順慶をご紹介しました。以上で会長の時間は終了です。

■ 幹事報告 西田 佳郎 幹事

- 本日、小林美術館より秋季特別展「東洋へのまなざし 日本と中国の情景」のご案内が届いておりますので、テーブルにおかせていただいております。
- 本日例会終了後、理事役員会を開催致しますので、関係者の方はご出席よろしくお願い致します。

■ 委員会報告

ロータリーの友9月号の読みどころの紹介。
(今井 克範 会報・IT委員長)

■ 出席報告 会員数44名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
9/1	37名	7名	—	84.09%
8/18	38名	6名	3名	93.18%

■ ビジター

なし

■ メークアップ

榎本(8/16 ワールド大阪ロータリーEクラブ)

藤野(8/11 IRCゴルフコンペ)

前山(8/4 理事役員会)

■ ニコニコ箱

- ・細川さん、本日はよろしくお祈いします(上田)
- ・本日は財団・米山委員長の細川理事、クラブフォーラム宜しくお願いいたします(西田)
- ・本日のクラブフォーラム、細川委員長 宜しくお願い致します(西端)
- ・寄付賞ありがとうございました(丹農)

- ・皆勤賞ありがとうございました(深井)
- ・納涼例会欠席のお詫び、皆出席ありがとうございました(原(正))
- ・誕生日祝等ありがとうございました(杉本)
- ・欠席のお詫び(藤野)
- ・欠席のお詫び(櫻井)

ニコニコ箱合計	22,000円
累計	165,000円

先週のプログラム クラブフォーラム



細川 嘉則 ロータリー財団・米山記念奨学会委員長

1. 2023.9.1 泉大津RC クラブフォーラム

地区補助金の使い方

～ 9/22の公開例会を通じて～

ロータリー財団・米山記念奨学会 委員長
細川 嘉則

2. 1. ロータリー財団の補助金

(1) ロータリー財団のプログラム

ポリオプラス・プログラム

ロータリーの最優先項目。
ポリオ常在国、ワイルド流入国、
高リスク国を中心とした世界の
ポリオ根絶のための取り組み。

世界中に6つあるロータリー平和
センターの1つで、国際関係、
平和、紛争解決とその関連分野
を学ぶ学生への奨学金。

人々によりよい生活をもたらす
地域社会に貢献するロータリアン
の活動を支援している活動。(人道
的単任プロジェクト、奨学金、職
業研修チーム)

ロータリー平和フェローシップ

補助金(DG・GG)

3. 2640地区の地区補助金

- (1) 地区補助金申請要項
- クラブは、ロータリーのある国と地域およびロータリーのない国と地域において、財団の使命に關する以下の活動やプロジェクトの目的で、第2640地区ロータリー財団委員会に地区補助金を申請することができます。
- ・人道事業・・・災害復旧活動や建物の建築にも利用可能
 - ・安全・・・教育関係のレベルや、交通関係、初次分野の制約なし
 - ・職業研修・・・専門職業をもつ方々からなる職業研修チームの活動
- (2) 地区補助金の地区予算
- 地区補助金の財源は、地区財団活動資金(※)の50%以下(現在は25%設定)です。
※安全、職業研修、臨時費、管理費に配分します。
- (※) 地区財団活動資金(DDF)とは、3年前の年次基金の47.5%と利用可能な借入金基金の利息の50%

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3217回

2. 2640地区の地区補助金

(3) 泉大津ロータリークラブの地区補助金利用可能額(2022-2023年度)

2020-21年度の寄付額から算出

クラブ名	会員数	年次基金(一人当たり)	基金合計	利用可能額(基金合計の25%)
泉大津RC	40人	\$55.00	\$2,200.00	\$550.00
2640地区	1700人	\$138.72	\$3,151,999.34	

※基金合計は、年次基金とその他基金(ポリオプラス含む)と恒久基金の3つの基金の合計です

1ドル145円で計算すると、泉大津RCが利用可能な地区補助金は約8万円となります

3. 泉大津RC 公開例会(9/22)の概要と意義

プロジェクト名 吉村喜彦「いのちの水」を語る

プロジェクトの概要

- ①地元出身の作家である吉村喜彦氏による「いのちの水」について講演会を開催する。
- ②公開例会に要請することで「ロータリーは何をするところ？」という市民の疑問に答え、更にゲストを招待することで効果を高める。
- ③FM/iFM/zoom/YouTubeに出演いただくことで全域への拡散を図る。
- ④クラブホームページ、Youtubeでの動画配信、ラジオ番組音声配信等で広げる。
- ⑤市立図書館(シープラ)に吉村喜彦の著書を寄贈する。

3. 泉大津RC 公開例会(9/22)の概要と意義

ロータリアンとはどのように参加するの

- ①企画、立案、当日運営: ロータリー財団委員会
- ②会場設営: 親睦活動委員会
- ③ゲストの招待: 会員増強委員会
- ④ホームページ、動画配信、音声配信: クラブ会報・II委員会
- ⑤市立図書館でのコーナー設置: 青少年奉仕委員会
- ⑥例会として開催するので、クラブ会員はほぼ全員参加する。

この事業をするにあたり、地域社会に与える影響が期待されるか

地元出身の作家を紹介し、講演いただくことで、コロナ禍でも元々は薄れつつあった文化的なアイデンティティの回復に努めることができる。また環境保全の大切さを考えさせられる機会と考える。

このプロジェクトをどのように地域社会に広げるか

市立図書館でのコーナー設置は、泉大津市の広報紙に掲載いただく、またFM/iFM/zoom/YouTubeでの放送を広く市民に聴いていただく。クラブのホームページやSNSを利用して広げる。

3. 泉大津RC 公開例会(9/22)の概要と意義

国際ロータリー第2640地区
2023-2024年度ガバナー 谷 宗光 メッセージより一部抜粋

各クラブでこれだけと言う仕事を行われているクラブはその事業を誇りに思っている。継続して素晴らしい事業を育てて下さい。またこれと併せて、積極的に新しいアイデア、新機軸で地域を活性化し、持続可能な事業につなげるよう努力して下さい。そして三年は続けてください。

大きな門限の、入って来ますか? 社会ではロータリーを知らない方が大半なんです。明るく楽しく「やっていることの見え方」にも取り組んで下さい。取り組みます。貴会地区ではダメなんです。ロータリーを通じて、思いやりあふれる社会を作りたい。

◎広報と公共イメージ向上こちらでも地区及び各クラブが、ロータリーの知名度、認知度を高めるには、やはり積極的な活動が必要なんです。子供様もわかりやすく有益な活動を行って下さい。再年度は分けて行われ、子供様向けのイベントなどは是非とも実施をお願いします。そして、様々なメディアを使い、その事業の様子を紹介し、その事業が有益であると思われたい。

9. 参考: 吉村喜彦様のプロフィール ①

- ・1954年、大阪生まれ。
- ・大阪府三田市立高校卒業、京都大学教育学部にてコミュニケーション論を専攻し、卒業。
- ・ブルース・バンド「55th Street Boogie」を結成。ヴォーカル、サイドキックとして活躍。「サモナー・グループ」で人気を博す。
- ・1979年4月、サンリオ(株)入社。宣伝部に配属。
- ・輸入担当として、ヘヴィのロード・カレンジャーや、ボン・ソナダ、ザ・パンク、ジャック・ダニエルの広告を制作。ジャック・ダニエルの新編広告は、名古屋高賞受賞。
- ・1982年、広島支店に異動。福山担当になり、セールス活動。
- ・1984年、東京に異動。以後、ハーレー・ロード・カレンジャーで「内閣」ミュージック・ロードの「リターン」。
- ・FM放送「Harper's Radio」というソウル・ミュージック番組を制作。
- ・ジャック・ダニエルのTVCMでACC(全日本シーエム放送連盟)CMグループマネージャー。
- ・約18年間のサラリーマン生活の後、1997年1月に、独立して、作家に。

10. 参考: 吉村喜彦様のプロフィール ②

【小説】

- ・ピア・ボーイ
- ・ウィスキー・ボーイ
- ・たそがれ遊廓
- ・バニッシュ
- ・ごらん
- ・二子玉川物語 など

【ノンフィクション】

- ・マスター、ウィスキーくささい
- ・日本列島バーの旗
- ・海軍にならうよ
- ・リキョール&スピリッツの本
- ・食べ、飲む、騒ぐ 沖縄美味の島
- ・オキナワ人日和
- ・ヤガネアチンチン など

【主なメディア出演】

- ・音楽魂飛行機〜食と音楽でめぐる地球の旅(2012年4月、NHK-FM) - パンナリテ
- ・クロスオーバーレブ〜クロスオーバーレブ(2014年)
- ・2014年8月11日 - 8月15日、NHK-FM) - 脚本
- ・ラジオ、FM放送への出演の他、関西のラジオ、FM放送にも多数出演されています。

4. せっかくのクラブフォーラムですので

【論点】

- ・次年度以降も引き続きやるか(持続可能な事業となるか?)
- 努力に見合う効果が出るか
- 毎年のローリング的な活動の更にも一歩先を目指すかどうか
- 取組テーマのアイデアが湧き出るか
- ロータリークラブ内でのパワーアップが図れるか(組織力向上)

開催後、地区への活動報告書の作成に合わせて活動内容を振り返り、今後の継続開催の是非に向けての論点整理を行って、組織として議論できるようにしたい。